

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名：グループホーム遊鳥

作成日：平成23年3月7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議メンバーの固定や会議の内容のマンネリ化により参加者からの活発な意見をいただけない。	運営推進会議参加者や地域の方々との活発な意見交換ができる。	・毎回その回の議題に応じて専門や見識のあるかたに運営推進会議の参加を依頼する。	12ヶ月
2	33	重度化や終末期ケアにより家族の意向を入居時に書面にて調査を行なっているが“今の段階では判断できない”との意向も多い。 また、具体的な意向を持っている家族でも考えが変わることが予測される。	定期的に本人や家族へ書面により終末期における対応の意向を調査し把握できる。	・年1回アンケート形式にて重度化や終末期の対応についてその時の考えを調査して後日、面会時などにアンケートをもとに個別に面談を行い意向の確認を行なう。	6ヶ月
3	33	看取りに関する指針は職員全員で把握しているが、現在看取り対象者はいないため定期的な勉強会を行っていない。	看取り介護を提供するに当たって職員の不安が軽減する。	・年1回及び看取り介護を開始する際に当ホームの看取りに関する指針に沿ってホーム内で勉強会を行う。	12ヶ月
4	35	火災時の訓練は定期的に行なっているが、風水害については口頭で動きの確認をただけである。非常時の備蓄も不十分である。	風水害の訓練を定期的に行い、動きの確認ができる。	・火災時の訓練とは別に風水害の訓練を行う。 その際、近隣住民の方々にも参加協力を求める。 ・地元の防災訓練がある際は参加し、関係機関等との連携を確認する。 ・非常時備蓄品チェックリストを作成して少しずつ揃える。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。